



笹小だより

No. 10

平成29年1月31日
横浜市立笹野台小学校

「春は、すぐそこに」

副校長 下田 卓

2月3日は節分、その翌日4日は立春です。まもなく春を迎えるということですが、まだまだ寒い日が続いています。

平成28年度もあと2ヶ月となりました。この時期は日中の時間が1日に1分ずつ長くなって、夜が1分ずつ短くなっていくそうです。そうやって、確実にすこしずつ春になっていきます。

さて、笹野台小学校の子供たちはというと、毎朝いつも元気に登校し、「おはようございます」の声とともに、明るい笑顔を見せてくれます。朝練習に参加している子供たちも寒さに負けず目標に向かって頑張っているようです。そんな子供たちから大人は元気をもらっています。そういえば、最近地球温暖化の影響か、池に氷が張る日も少なくなりました。

最高学年であり学校を引っ張っている6年生にとっては区切りの年、卒業を控え、凛々しい顔つきになりました。少年の姿からすこし大人びたように感じる今日この頃です。

先日、卒業文集に私からのメッセージを寄稿しました。「竹と笹」についての話を書きました。竹も笹もイネ科タケ亜科に属する植物で竹と笹の違いは、大型のものを「竹」、小型のものを「笹」と呼ぶそうです。竹は「高い」や「丈」が転じたもので、「笹」は「さわやか」などの「ささ」からといわれているそうです。竹に「節」があるように人生にも「節」があります。6年生は卒業という最初の「節」にさしかかっています。「節」があるから竹は強いのであって、強い人間になるために、大きな「節」をつくってほしいです。

卒業文集に寄せられた作文には、「将来の夢」を語っているものが見られます。私も子供の頃から、「大きくなったら何になりたいか」など、「夢」を問われる機会は幾たびかありました。その「夢」は問われるたびに変わっていきました。小さかった頃は、単なるあこがれや格好良さ、テレビなどの影響が大きなウエイトを占めていたのですが、大きくなるにつれて、現実とのギャップを埋めるように、「夢」は幾たびか変わっていきました。

「夢」に向かって一生懸命に頑張ることは、本当に素晴らしいことです。しかし、大人になるまでの間、順調に「夢」の実現を果たせた人は本当にわずかだと思います。

上手くいかずに「夢」に破れてしまうこともあります。進学や就職など、私も何度かその場面に遭遇しました。「夢」がかなわなくても、一生懸命に努力したときは、不思議と落ち込みませんでした。そのときには、次の「夢」をもってまたそれに向かってがんばる。そんな気持ちが湧いてきました。

正門の桜の木も、小さな芽を付け、春に向けて花を咲かせる準備をしています。春はすぐそこまで来ています。子供たちの進級した笑顔とともに可憐な花を咲かせることと思います。